

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2019-66878 (P2019-66878A)
 【公開日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-016
 【出願番号】特願 2018-244263 (P2018-244263)
 【国際特許分類】

G 0 9 B 5/08 (2006.01)

G 0 6 Q 50/20 (2012.01)

G 0 6 N 5/02 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 5/08

G 0 6 Q 50/20

G 0 6 N 5/02 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 9 日 (2020.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

学習を支援するための支援装置による支援方法であって、前記支援装置が、
 ユーザーが既に学習した知識を保持する学習済み知識テーブルと、知識と特徴との対応
 関係を保持する特徴テーブルとを参照して、前記ユーザーが新たに学習した知識又は前記
ユーザーが新たに学習する知識と、前記ユーザーが既に学習した知識のうちの少なくとも
1 の知識との間に、共通する特徴が存在するか否かを判定するステップと、

共通する特徴が存在する場合、前記ユーザーの端末に、前記特徴の存在を提示させるス
 テップと、

前記ユーザーが既に学習した知識と前記特徴テーブルとに基づき、次に学習する知識又
は次に学習した知識をユーザーに推薦するステップと

を含む支援方法。

【請求項 2】

学習する知識には学習順序が対応付けられており、前記推薦するステップにおいて、前
記学習順序が最も小さいものを前記次に学習する知識として抽出する、支援方法。

【請求項 3】

前記特徴は、共通概念又は思考型の少なくともいずれかを含む、請求項 1 又は 2 に記載
 の支援方法。

【請求項 4】

前記推薦するステップにおいて、前記ユーザーが既に学習した知識とつながりのある知
 識が複数ある場合、当該複数の知識のうち、前記ユーザーの理解度がより高い知識を、次
 に学習する知識として前記ユーザーに推薦する、請求項 1 又は 3 に記載の支援方法。

【請求項 5】

前記推薦するステップにおいて、他の学習者の動きの機械学習、他の学習者の入力、ベ
 イズ理論、又は入学試験を分析したツールに基づき、前記ユーザーが既に学習した知識と
 次に学習する知識とのつながりの見直しを行う、請求項 1 又は 3 に記載の支援方法。

【請求項 6】

前記提示させるステップにおいて、前記端末の表示画面に、共通する特徴が存在する複数の知識の名称、略称又はシンボルを共通する前記特徴の存在とともに表示することを含む、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の支援方法。

【請求項 7】

共通する前記特徴の存在は、前記複数の知識の名称、略称又はシンボルの間を結ぶことで表示される、請求項 6 に記載の支援方法。

【請求項 8】

通信部と、

ユーザーが既に学習した知識を保持する学習済み知識テーブルと、知識と特徴との対応関係を保持する特徴テーブルとを参照して、前記ユーザーが新たに学習した知識又は前記ユーザーが新たに学習する知識と、前記ユーザーが既に学習した知識の少なくとも 1 の知識との間に、共通する特徴が存在するか否かを判定する処理部とを備え、

共通する特徴が存在する場合、前記ユーザーの端末に対して、前記通信部は、前記特徴の存在を提示するためのデータを送信し、前記ユーザーが既に学習した知識と前記特徴テーブルとに基づき、次に学習する知識又は次に学習した知識をユーザーに推薦する支援装置。